



WebFOCUS リリースノート（アシスト追補版）

Version 9.3.2

本リリースノート（アシスト追補版）では、『WebFOCUS リリースノート Version9.3.2』を補完する情報と注意点を記載しています。WebFOCUS Version 9.3.2 をインストールの前に必ずご一読ください。

トピック

- WebFOCUS リリースノートについて
- WebFOCUS Version 9.3.2 で修正された問題
- WebFOCUS Version 9.3.2 で新規に発生する問題
- ライセンスファイルの適用について（WFTEST-5982）
- 以前のバージョンからの Resource Analyzer リポジトリの移行について（WFTEST-5906）
- オンラインヘルプについて（WFTEST-6061）

WebFOCUS リリースノートについて

『WebFOCUS リリースノート Version9.3.2』には、利用される環境によって必要な設定および注意点が記載されています。WebFOCUS をご利用の前に必ずご一読ください。

リリースノートは、WebFOCUS Knowledge base サイトからダウンロードしていただくことができます。WebFOCUS Knowledge base へのアカウント登録が必要です。アカウントをお持ちでない場合は、下記 URL 上に表示される「WebFOCUS Knowledge base とは？」のリンクからアカウントの申し込みを行ってください。

<https://wfp.ashisuto.co.jp/service/>

WebFOCUS Version 9.3.2 で修正された問題

WebFOCUS Version 9.3.2 では、新たに以下の問題が修正されました。

管理番号	コンポーネント	内容	修正バージョン
WFTEST-3841	Reporting Server	動的パラメータ設定に誤りがあったとき、デザイナスタイルのオートプロンプトテンプレートではエラーメッセージ表示されません	9.3.2
WFTEST-5661	Designer	ビジュアライゼーションで脚注を有効にし、見出しと脚注にそれぞれ日本語入力すると、最後に入力したテキストの配置が中央揃えになり、英語文字列が表示されます。	9.3.2
WFTEST-6076	Designer	Designer で JOIN した子テーブルの項目を動的フィルタに設定する場合、オートプロンプトで値が表示されません	9.3.2
WFTEST-6077	Designer	ビジュアライゼーションのフォーマット設定から、[列]にある項目の[列幅]を設定して保存後、再編集すると列幅の設定がリセットされてしまいます。	9.3.2
WFTEST-6089	ReportCaster	ReportCaster にて配信リスト作成時、Email の追加からパターンを「その他」に選択して保存後、再編集を行うと追加したメンバー (Email) のバースト値が入力可能となっています。	9.3.2
WFTEST-6140	App Studio	App Studio にて HTML キャンバスに挿入したコンポーネントにあるスケジュール機能を実行すると ReportCaster 画面でエラーが生じ、メニュー項目などが機能しません。	9.3.2
WFTEST-6160	Designer	Designer でオートリンクを実行すると、「この変数の値は無効です。'IBFS_ParentDrills'」のエラーが発生します	9.3.2
WFTEST-6169	Designer	ビジュアライゼーションで、見出し、脚注のどちらか一方に半角英数文字を入力すると、もう一方で半角英数文字が入力できなくなります	9.3.2

WFTTEST-6214	Designer	Designer ページで、カルーセルコンテナに「コンテンツの再実行」を設定しても、コンテンツが再実行されません。	9.3.2
WFTTEST-6271	Designer	カルーセルコンテナでプロシージャの画面切り替え時、開発者ツールで確認すると「Uncaught TypeError: page.find is not a function」エラーが表示されます	9.3.2

WebFOCUS Version 9.3.2 で新規に発生する問題

WebFOCUS Version 9.3.2 では、以下の問題（仕様変更、注意点を含む）が新規に発生することが報告されています。

管理番号	コンポーネント	タイプ	内容
WFTTEST-6303	その他	仕様変更	V9.3.2 から、WebFOCUS Hub 画面のハンバーガーメニュー内にあるクイックアクセスメニューは廃止されました

WebFOCUS をご使用にあたっての非互換、不具合の詳細な情報は、AWSC-2（Ashisuto Web Support Center-2※）の WebFOCUS 不具合・非互換一覧 バージョン 9（FAQ 番号：60195）をご確認ください。
<https://ashisuto.my.site.com/awsc2>

※AWSC-2 のログインにはサポート ID が必要となります。

ライセンスファイルの適用について（WFTTEST-5982）

WebFOCUS V9.3.0 より、WebFOCUS Reporting Server をインストールするために、顧客 ID とライセンスファイルの適用が必要となりました。

【注意事項】

- 顧客 ID は、WebFOCUS Reporting Server インストール時に指定します。
- ライセンスファイルには、契約満了日の情報が含まれており、その日付を過ぎると WebFOCUS Reporting Server が起動できなくなります。そのため、満了日までに契約の更新と新しいライセンスファイルの入手と適用が必要となります。契約に関する手続きについては、弊社営業担当にお問い合わせください。

【手順】

1. WebFOCUS Reporting Server を停止します。
2. 以下のフォルダ/ディレクトリに、入手したライセンスファイル（license.txt）を配置します。

ライセンスファイルの配置場所：

Windows: <drive>:\ibi\srv93\wfs\bin

Linux: <directory>/ibi/srv93/wfs/bin

3. WebFOCUS Reporting Server を開始します。

以前のバージョンからの Resource Analyzer リポジトリの移行について (WFTEST-5906)

WebFOCUS V9.2.2 以降、Resource Analyzer を新規構成した場合のリポジトリのテーブル名は、末尾にバージョン番号を表す名前に変更となります。

各バージョンのテーブル名： V9.2.x の場合は「SMxxx_9200」、V9.3.x の場合は「SMxxx_9300」等となります

<V8.2.07 ~ V9.2.1>	<V9.2.2 ~ V9.2.3>	<V9.3.x>
SMAUDIT_8207	SMAUDIT_9200	SMAUDIT_9300
SMCOLUMNS_8207	SMCOLUMNS_9200	SMCOLUMNS_9300
SMFROMS_8207	SMFROMS_9200	SMFROMS_9300
SMFUNCTIONS_8207	SMFUNCTIONS_9200	SMFUNCTIONS_9300
SMGOVERN_8207	SMGOVERN_9200	SMGOVERN_9300
SMQUERY_8207	SMQUERY_9200	SMQUERY_9300
SMRELATIONS_8207	SMRELATIONS_9200	SMRELATIONS_9300
SMREMOTES_8207	SMREMOTES_9200	SMREMOTES_9300
SMREQUESTS_8207	SMREQUESTS_9200	SMREQUESTS_9300
SMRPCREQUESTS_8207	SMRPCREQUESTS_9200	SMRPCREQUESTS_9300
SMRPCS_8207	SMRPCS_9200	SMRPCS_9300
SMRPCWF_8207	SMRPCWF_9200	SMRPCWF_9300
SMSERVERS_8207	SMSERVERS_9200	SMSERVERS_9300
SMSSESSIONS_8207	SMSSESSIONS_9200	SMSSESSIONS_9300

WebFOCUS のバージョンアップにおいて、V9.3.x の新規インストールを行い、以前のバージョン（V8.2.07～V9.2.3）で構成済みの Resource Analyzer リポジトリを移行する場合、以下の手順で対応してください。

以前のバージョンから Resource Analyzer リポジトリの移行を行わない場合は、対応の必要はありません。

また、以前のバージョンから更新インストールを行った場合は、Resource Analyzer のリポジトリテーブルは以前に構成されたテーブル名が使用されるため、対応は不要です。

【事前確認】

- 移行元環境（V8.2.07～V9.2.3）と移行先環境（V9.3.x）の Reporting Server のコードページは、同じである必要があります。

- 移行元環境（V8.2.07～V9.2.3）と移行先環境（V9.3.x）の Resource Analyzer 構成で使用するアダプタのタイプ/バージョン、接続名は、同じである必要があります。

【手順】

1. 移行元環境と移行先環境の Reporting Server のサービスを停止します。
2. 移行元環境の<drive>:¥ibi¥srv**¥wfs¥catalog¥rm フォルダをコピーし、バックアップを取得します。
3. 移行先環境の<drive>:¥ibi¥srv93¥wfs¥catalog¥rm 配下に、2.で取得したバックアップから rm フォルダ配下のファイルをコピーします。
4. 移行先環境の Reporting Server のサービスを起動します。
5. Web コンソールにアクセスします。ブラウザを起動し、次の URL にアクセスします。
http://hostname:port/
説明：
hostname
WebFOCUS Reporting Server を実行しているマシンのホスト名または IP アドレスです。
port
インストール時に指定した HTTP ポートです。デフォルトは 8121 です。
6. 画面上部のツールメニューから[リソース管理]を選択し、リソース管理画面で以前のリリースで蓄積された利用ログを表示できることを確認します。

オンラインヘルプについて（WFTEST-6061）

WebFOCUS V9.3.0 より、オンラインヘルプは以下のメーカードキュメントサイトで公開されるヘルプに統一されました。（オンラインヘルプは現在英語版のみの公開となります。）

【WebFOCUS Client】

<https://docs.tibco.com/pub/wf-wf/9.3.0/doc/html/Default.htm>

【WebFOCUS Reporting Server】

<https://docs.tibco.com/pub/wf-rs/9.3.0/doc/html/Default.htm>

【WebFOCUS App Studio】

<https://docs.tibco.com/pub/wf-as/9.3.0/doc/html/Default.htm>

各ヘルプは、HTML 形式でダウンロードすることもできます。

以上